

## 札幌市立簾舞中学校の取組【雪に関する教育課程】

### 1 研究のねらい

本校校区は自然豊かな山間地にあり降雪量が多く、また、起伏に富んだ狭い山道が多いため、冬の生活、とりわけ除雪作業には困難を伴う。しかしその中で、住民はこの地域に対する愛着をもちながら、冬期間の生活を楽しんでいる。

地域の中でも若い世代である生徒が、この地域に住む楽しさを実感することに加え、郷土である札幌の冬の特徴を客観的・理論的に捉え、地域の生活向上に向けて意欲的に考え、活動することで、自己有用感を醸成し、将来のまちづくりに貢献できる人材の育成を目指したい。

### 2 取組内容

#### (1) 札幌市雪対策室職員・南区土木部職員による除雪に関する講演会（9月）

本格的な冬シーズンに入る前の9月下旬、札幌市雪対策室職員3名と南区土木部職員1名を招き、除雪に関する全校講演会を行った。札幌市の除雪に関する最新の情報を得るとともに、自然との関わりを考え、除雪に関わる人たちの苦勞の一端を知ることや社会の一員としての役割を果たすことをねらいとした。除雪について考えるには早いと思われる時期ではあるが、この講演会を今年度初めての「雪に関する学習」とし、全校生徒に年間計画を提示して、見通しをもって学習を進めていくきっかけとなるよう設定した。

スライドやDVDの視覚に訴える資料に加え、実際に除雪に関わって苦勞している職員の声を聞くことで、除雪に対する考えが変わったという生徒も少なくなかった。事後の感想文で「もしも除雪してくれる人がいなかったら、多いところで7mの雪を市民だけで除雪するんだと思った。」「自分の家の近くに雪を積み上げられても文句を言わずに自分であることを教えてあげたい。」「(除雪従事者には)高齢者が増えていくと予想されるのを聞いて、私もボランティアとして少しでも楽させてあげたいと思った。」などの記述が見られた。



#### (2) 図書館「雪に関する資料展示」（12月）

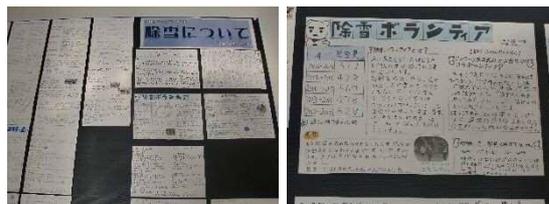
雪に関する学習を支援する活動として、学校図書館司書と生徒会図書局との協力により、雪に関する様々な種類の資料を展示・閲覧するコーナーが設けられた。全校講演会で学んだことを振り返ったり、これからの活動の事前学習をしたりと、有効に活用されていた。



#### (3) 除雪に関する掲示物作成（冬休み）・掲示（3学期）

9月の全校講演会の内容を受け、1・2年生には冬休み中に除雪に関する掲示物を作成させた。講演会で学んだことを振り返り、自分なりの工夫を加えながら掲示物にまとめた。

り、掲示された他者の作品を見たりすることで、除雪に関する理解を深め、自分なりの考えをもつことができた。



(4) 生徒会「雪かき・汗かきチャレンジ」への参加(12月～2月)

① 参加に向けてのPR活動(12月)

生徒会が毎年力を入れている12月の全校集会「歳末助け合い運動集会」の中で、生徒会の役員が「雪かき・汗かきチャレンジ」への参加を呼びかけた。また、校内に手づくりのポスターを掲示して意識付けを図った。



② 「雪かき・汗かきチャレンジ」への参加と「除雪マップ」の作成(12月～2月)

昨年度は現3年生の意欲的な参加が見られ、学校賞を受賞した。2年連続の受賞を目指し、今年度も積極的に参加した。連続受賞を目指すからには、除雪という活動により高い目的意識をもって参加させることが大切であると考え、今年度は生徒から危険箇所等の情報を集めて1枚の地図にまとめた「簾舞中・除雪マップ」を生徒会が作成することとなった。地域に貢献することを目的とした活動を目指した。



(5) 平昌オリンピック出場選手との交流(2月)

本校卒業生が平昌オリンピック出場を決め、簾舞まちづくりセンターと協力して応援活動をするようになった。全校生徒が応援メッセージを書いた色紙・応援旗の贈呈や壮行会、パブリックビューイングへの参加を通して、ウインタースポーツに親しみ、札幌に誇りをもつとともに将来に夢を抱くことのできる生徒の育成につながることを期待した。

### 3 成果と課題

(1) 成果

昨年度は「汗かき・雪かきボランティア」学校賞受賞により、「除雪は楽しい」と思う生徒が増えた。今年度は除雪をするだけでなく、より客観的・理論的に考えることができるよう、一つ一つの取組に関連性をもたせ、年間を通じて系統性のある取組ができた。年間計画を一連の取組の最初に提示し、生徒が見通しをもって学習を進められようにした結果、生徒の意識は高まり、掲示物等の完成度も予想以上に高かった。また、当初計画にはなかったが、地域からオリンピック選手が生まれ、応援する機会を逃さず学校ぐるみ・地域ぐるみで参加できたことは、雪に関する何よりの教育になったと考える。

(2) 課題

限られた授業時数の中で雪に特化して取組を充実させることは難しく、特に3年生は進路に関わる時期のため、十分な取組を設定できなかった。また、除雪に関しては地域住民の声を生かせる方法を模索していきたい。